

か|か|み|が|は|ら 市議会だより

2020年11月1日発行

No. **180**

3月 6月 9月 12月

令和2年7月臨時会
9月定例会

議案概要

令和元年度 決算・主な事業 P.3

委員会審査

空き家の件数 増加傾向に推移 P.4

議案概要

7月臨時会 電子図書館を開設 P.7

一般質問

新年度予算 新しい時代に対応 P.9

一般質問

学校の在り方 地域の拠点として P.10

一般質問

インフルエンザ 予防接種費用を助成 P.11



事業者の皆さんを応援！
(7ページ参照)



今号の表紙 世代をつなぐ子供歌舞伎

コロナ禍にある今年、村国座の子供歌舞伎は村国神社への奉納上演は叶わなかったものの、伝統芸能継承のため「発表会」として披露されました。

継承の灯を絶やさぬようにと想いのこもった演技は、大人顔負けの迫力ある舞台となりました。

一般質問

13人が

市政を問う P.9~

令和2年9月定例会

議案概要

定例会を8月27日から9月25日までの30日間開催し、令和2年度一般会計補正予算をはじめとする27案件を審議しました。

予算に関する議案

令和2年度一般会計補正予算

当面の行政需要に対応するため、歳入歳出予算などの補正を行うもので、主なものは次のとおりです。

歳出の主なもの

▼情報化推進費

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、職員が自宅などで業務を行えるようテレワーク専用のパソコンや通信機器を導入するものです。

1538万4千円

▼農業改良普及費

農業の担い手育成の強化を目的に、県が行っている補助制度を活用し、対象となる新規就農者に対し補助を行うものです。

200万円

▼産業文化センター施設整備費

令和3年度に、産業文化センターエントランスホールの天井と1階トイレの改修を予定しています。

工事期間中は、1階のあすか

ホールが使用できなくなるため、代わりに同センター8階の第1特別会議室を一般に貸し出しできるよう改修するものです。

1618万2千円

▼地方道路整備事業費

市道稲100号線（スチールロード）と、県道下中屋笠松線（堤防道路）の交差点は見通しが悪く、早急な安全対策が必要なことから、交差点改良のための測量設計を行うものです。

1505万2千円



鋭角に交わり見通しが悪いため改良予定の交差点

▼予防接種費

今年は、新型コロナウイルス

感染症とインフルエンザの同時流行が特に懸念されています。

そのため、インフルエンザワクチンの優先的な接種対象者とされている、妊婦や中学生までの子どもが予防接種をした場合、その費用に対して、一回当たり2千円を助成するものです。

7693万1千円

▼小学校・中学校・

特別支援学校管理費

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、市内の小・中・特別支援学校の修学旅行などに使用するバスの増台や、行程の変更などが必要になりました。

それに伴う費用が発生するため、保護者の経済的負担の軽減を図るものです。

2063万8千円

条例に関する議案

地区計画区域内における

建築物等の制限に関する

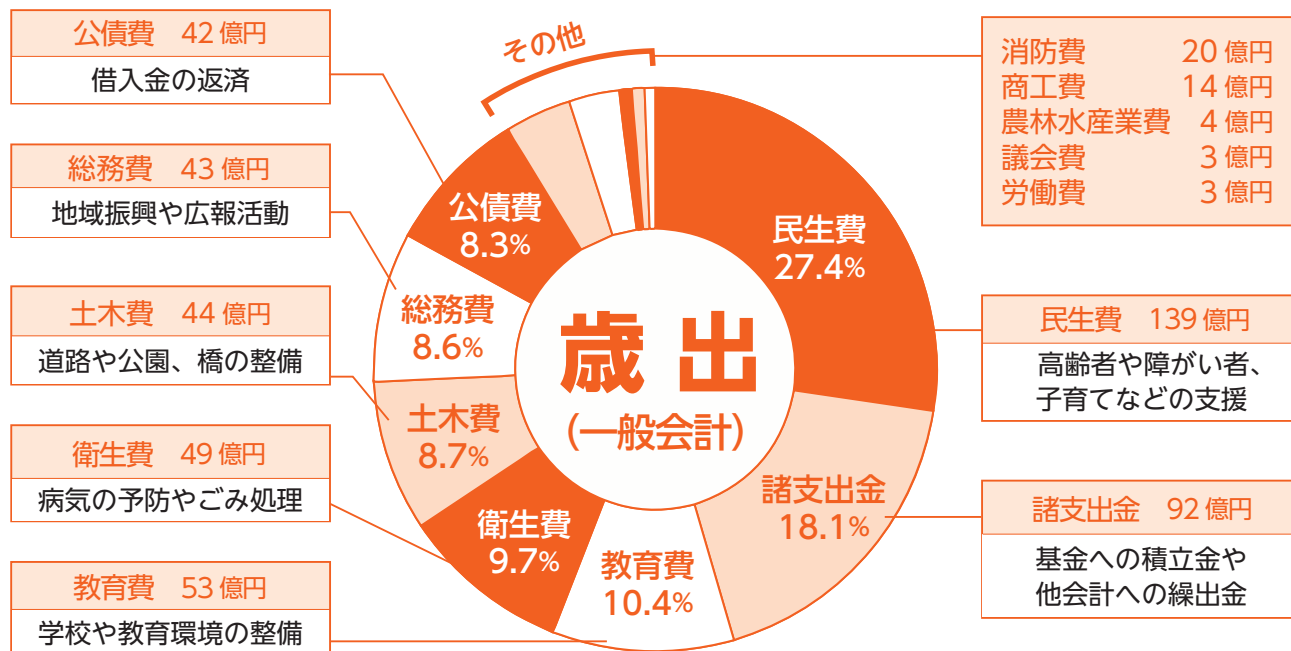
条例の一部改正

各務山の前町地区地区整備計画の区域内における建築物などに関する制限を定めるものです。

決算

税金の使い道をチェック

令和元年度一般会計で各務原市が使ったお金（歳出）506億7488万円の内訳を円グラフで示しています。入ってきたお金（歳入）は541億9983万円となり、歳入と歳出の差35億2495万円は、繰越金として次の年度に使っていきます。



岐阜県産の木材で作られたおもちゃで遊ぶ

ぎふ木育ひろば設置事業 (民生費)
あさひ子ども館内の使用されなくなった一室を、子どもが県産材を使ったおもちゃで遊ぶことができる「ぎふ木育ひろば」にリニューアルしました。

耐震性貯水槽整備事業 (消防費)
巨大地震発生時にも迅速かつ確実に消火活動を行うことができるよう、那加浜見町と成清町地内に耐震性貯水槽を整備しました。

令和元年度の主な事業

成年後見利用促進事業 (民生費)
認知症や知的障がい、精神障がいなどがあることにより判断能力が不十分で、日常生活が困難な状況にある方に、成年後見制度を利用・活用してもらえよう、成年後見支援センターにおいて支援を行いました。

鉄道駅バリアフリー化施設

改善事業 (商工費)
名古屋鉄道(株)が実施した、名鉄新那加駅へのエレベーター設置などのバリアフリー化の工事に対して、補助金を支出しました。

那加福祉センター勤労会館

駐車場活用事業 (土木費)
那加福祉センター勤労会館駐車場跡地の活用を検討するために、民間事業者との対話や、この地区の賑わいの創出などを検証する社会実験を行いました。

市民会館空調・舞台照明設備改修事業 (教育費)

市民会館の利用環境を向上させるため、空調整備や舞台照明設備の改修工事を平成30年度から2カ年にかけて行いました。

委員会審査

議案を分野別に4つの委員会に分け、詳しく審査を行いました。
各委員会での主な質疑の内容は次のとおりです。

総務常任委員会

令和元年度一般会計決算

問 維持管理が適切に行われていない空き家の件数の推移は。

答 平成28年度末が82件、29年度末が125件、30年度末が189件、令和元年度末が205件で増加傾向にある。

問 2年目を迎えた女性応援セミナーで、前年度より工夫した点は。

答 セミナーを5回行ったことに加え、反響の大きかった「個人に対する相談会」を1回から6回に増やした。

問 那加土山町自然崖落石防護事業の内容と効果は。

答 平成30年に発生した大阪府北部地震を受け、市所有の山林などを一斉点検した。

その結果、那加土山町の自然崖中腹に不安定な状態の巨岩が確認されたため、直ちに撤去し、令和元年度は落石防護工事を実施した。

巨岩は道路に面していたため、地域の方からは「安心して通行できるようになった」との声を頂いた。

問 広報紙の配布は自治会の負担が大きいのと意見もあるが、月2回の発行を見直す考えは。

答 市政情報などを、きめ細かく適切な時期に市民に知らせることができると、月2回が適切だと考えている。

問 かかみがはらオープンクラスにおける、移住定住に関する相談件数と移住実績は。

答 昨年度の相談件数は137件、移住者の実績は15世帯37人である。

問 東京で開催したシティプロモーションイベントの内容は。

答 本市に関するクイズに加え、市内ゲームソフト会社と連携してトークイベントを開催し、さらに本市と岐阜市の両市長の対談を実施した。

参加者からは「各務原市に住みたい」「いずれば帰りたい」などの声もあり本市の魅力を知ってもらえるなど、手応えを感じた。



各務原市に関するクイズを出題（東京・上野桜木）

問 自治会まちづくりミーティングで取り上げるテーマはどのように決めているのか。

答 事前に各自治会長から提案されたテーマの中から、自治会役員と相談・調整しながら決めている。

問 あさけんポストやまちづくりミーティングによる対話から実現した主な事業は。

答 産業文化センターのエレベーター内に休憩できる椅子を設置した。

また、マイナンバーカード申請時に市民課窓口で写真撮影を行う支援を始めた。

令和2年度一般会計補正予算

問 職員のテレワーク専用端末の購入を30台とした理由と想定している業務は。

答 新型コロナウイルス拡大に伴う緊急事態宣言時の勤務状況や、テレワークが適している部署の職員数などを総合的に勘案した。

また、個人情報を取り扱わない業務を想定している。

問 来年度以降もテレワーク用端末の使用を継続した場合の維持管理費はいくらか。

答 年間400万円から500万円程度と想定している。

民生常任委員会

令和元年度一般会計決算

問 保育人材の確保のため、学生と現役保育士が「保育」をテーマに気軽に自由話し合うことを目的としたワールドカフェ開催事業の効果は。

答 この事業に参加していた学生から、来年度採用の保育士試験に応募があるなど一定の効果があった。



保育をテーマにワールドカフェ方式で意見交換

問

子育て世代の相談窓口である母子健康包括支援センターでの主な相談内容は。

答 電話での相談では、子どもの発達や離乳食、授乳に関する相談があった。

そのほかには、母親の精神疾患や経済的困窮に関する相談があり、必要に応じて市の担当部署や医療機関、助産院、保健所など各機関の支援につないだ。

問 風しん追加的対策事業で抗体検査した人数は。

答 8238人に勧奨通知を行い、1964人が検査を受けた。

問 新型コロナウイルスの影響により、収入が減少した方を対象とした市税の徴収猶予を行った業種と件数は。

答 主に飲食業や製造業、小売業などをされている方からの申請が多く、許可人数は13人、猶予額は約130万円である。

問 市税収納における納付方法ごとの割合は。

答 □座振替が46・3%、金融機関が27・2%、コンビニが25・2%、クレジットが1・3%である。

問

北清掃センターへのごみの搬入量が増加した要因は。

答 緑ごみは、リサイクル業者が一時的に受け入れを停止しているため、その分が北清掃センターに搬入され、増加したと考える。

不燃破砕ごみは、消費税増税前に家財道具を買い替える方が多くいたため、それに伴い増加したと考える。

問 合葬式墓地への申請数と生前登録数は。

答 3500区画あるうち、令和元年度末で559区画の申請があり、524区画の生前登録があったことから、全体で1083区画が埋まったことになる。



瞑想の森内にある合葬式墓地

問 土地開発基金の廃止に伴い、1億円の社会福祉施設等整備費で土地の買い戻しを行ったが、土地の利用目的は。

答 現時点では具体的な整備計画はないが、広く社会福祉の向上に寄与するような利活用を図りたいと考えている。

令和元年度介護保険事業 特別会計決算

問 介護保険料の特別徴収と普通徴収の割合と、普通徴収の滞納者数は。

答 特別徴収が約93%、普通徴収が約4%、併徴が約2・5%で、普通徴収の滞納者数は、559人である。

令和2年度一般会計補正予算

問 住居確保給付金の申請見込み件数は。

答 5月時点で、月平均12件ほどを見込んでいたが、5月以降の実績が平均で14・5件と、見込みよりも上回る件数であった。

また、件数が増加するだけではなく、利用の延長をする場合も多くあるため、それも見込んで予算を増額する。

建設水道常任委員会

令和元年度一般会計決算

問 道路の補修など、自治会からの要望に対応するまでの平均的な期間は。

答 緊急性が高いと判断する案件は速やかに対応しているほか、契約行為が必要な案件は、要望を受けてから3〜4カ月後に工事が開始となる。

問 緊急性が高い案件の内容とは。

答 道路上の穴など第三者への被害につながるものや、子どもの安全を守る観点から通学路に関するものである。

問 倒壊などの危険性が高いブロック塀の状況は。

答 小学校より半径500m以内の、通学路に面した危険性の高いブロック塀は303件あり、そのうち32件が撤去済みである。

まだ撤去をしていただけではない方については、今後パンフレットを送付する予定である。

問 吹き付けアスベスト含有調査事業では、どの公共施設を調査したのか。

答 集会場、地区体育館、中学校と、公園の公衆便所など215施設を調査した。

問 調査の結果と今後の対応は。

答 87施設の外壁の仕上げ材にアスベストが含有されていることが認められたが、現在は固まっており人体に特段の影響はない。

解体や外壁改修の際に、飛散しないよう適切に撤去していく。

市道路線の廃止及び認定

(市道各3号線ほか1路線)

問 洞橋1号橋の撤去に伴い、市道路線を再編成するが、橋の利用者への影響は。

答 地元では、ほとんど利用がなくて山仕事をされる方の作業通路だと聞いている。

たまにハイキングの方が通ることから、橋を撤去しても川を渡るよう、例えば川へ下りる階段と飛び石を設置するなどしていききたい。

問 洞橋1号橋の修復はできないのか。

答 橋の一部のコンクリートがはがれ、主要な鉄筋がむき出しとなり、さびてちぎれ

ている状況である。修復は可能であると思うが、それなりの費用がかかる。



劣化が進み撤去される洞橋1号橋(各務東町)

令和元年度下水道事業

特別会計決算

問 下水道使用料の値上げにより、歳入額はどのくらい増加したか。

答 令和2年度からの公営企業会計への移行に伴い、令和元年度は3月末までの打ち切り決算となるため単純に比較はできないが、14%程度の増加と推定する。

問 一般会計から繰り入れた都市計画税は、何にいく

ら充当しているか。

答 充当の内訳は、雨水処理のための経費として約8300万円、分流式下水道のための経費として約2億4千万円、基準外繰入として3億7千万円である。

工事請負契約の締結

(旭ヶ丘住宅A棟耐震補強等工事)

問 総合評価一般競争入札にした理由は。

答 市営住宅の入居者が生活する中で工事を行うことになるため、入居者に対する負担軽減に配慮した技術提案を施工業者に求めるためである。



耐震補強工事を行う旭ヶ丘住宅A棟

経済教育常任委員会

令和元年度一般会計決算

問 森林整備全体計画調査事業で行った、市内森林の現状調査の結果は。

答 人工林の地下となる植物や樹木の状況を調査して、今後どの林を整備していくべきかという順位付けをした。

また、市内に9路線ある林道、延べ11キロほどの現況調査をして、その結果を順位付けすることと今後整備が必要かどうかを確認するなどの準備をした。

問 ふれあいバスに関する乗降調査や利用者ヒアリングの調査を踏まえて反映したことは。

答 12会場でバスの懇談会を行っており、その結果、昨年10月には稲羽線と川島線を増便した。

問 学食トレイ広告事業の効果は。

答 大学の食堂で使用される食事を載せるトレイ（おぼん）に市内企業の採用情報などの広告を掲載し、ウェブサイトなどに誘導するもので、イン

ターンシップ関連ページに30件、企業の紹介ページに314件のアクセスがあった。

問 生涯現役促進地域連携事業において、56人の就職が決まったがその業種の内訳は。

答 主な業種としては、製造業に12人、介護関係に11人、小売業に11人などである。



高齢者向けに市内企業への見学会を開催

問 学校経営振興事業の内容は。

答 地域と連携した事業、教職員の研修事業、特色ある学校作り事業の3つに分かれており、学校が工夫を凝らしてそれぞれの事業を立案した。

令和2年7月臨時会

臨時会を7月22日に開催し、令和2年度一般会計補正予算などの5案件を審議しました。

令和2年度一般会計補正予算歳出の主なもの

▼図書館運営費

図書館が休館の時でも、時間や場所を問わず、デジタル化された書籍をパソコンやスマートフォン、タブレットなどで借りて読むことができる電子図書館を導入するものです。

610万円



いつでもどこでも電子化された本が読める

▼商業振興対策費

新型コロナウイルス感染症による経済的影響に対応するため、市内店舗で利用できるプレミアム付商品券を発行し、売り上げ減少によって打撃を受けている市内事業者などを応援するものです。 9億2249万6千円

▼学校給食管理費

小・中・特支学校の夏休み期間に授業を行った日の給食費について、保護者負担を無償にするものです。 5469万1千円

工事請負契約の締結

各務原市新庁舎建設工事（Z E B化設備）を、一般競争入札の結果に基づき、7億950万円で川崎・丸共特定建設工事共同企業体と工事請負契約を締結するものです。

財産の取得

児童生徒1人当たり1台のタブレット端末と、端末のケースや保護フィルム、管理用のパソコンなどを一般競争入札の結果に基づき、(株)大塚商会中部支店から5億1612万円で取得するものです。

審議の結果

議案等の審議の結果は以下のとおりです。

賛成全員…◎ 賛成多数…○ 賛成少数…△

令和 2 年 7 月臨時会

議案等の種類	案 件 名	審議の結果	採決の状況
予 算	令和 2 年度一般会計補正予算（第 7 号）	可決	○
条 例	個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	可決	○
	放課後児童健全育成事業の実施に関する条例の一部を改正する条例	可決	◎
契 約	工事請負契約の締結（新庁舎建設工事（ZEB 化設備））	同意	○
財 産	財産の取得（小中学校情報機器）	可決	◎

令和 2 年 9 月定例会

議案等の種類	案 件 名	審議の結果	採決の状況
決 算	令和元年度一般会計決算の認定	認定	○
	令和元年度国民健康保険事業特別会計決算の認定	認定	◎
	令和元年度介護保険事業特別会計決算の認定	認定	◎
	令和元年度後期高齢者医療事業特別会計決算の認定	認定	○
	令和元年度下水道事業特別会計決算の認定	認定	○
	令和元年度水道事業会計決算の認定	認定	○
予 算	令和 2 年度一般会計補正予算（第 8 号）	可決	○
	// （第 9 号）	可決	○
	令和 2 年度介護保険事業特別会計補正予算（第 2 号）	可決	◎
条 例	指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	◎
	地区計画区域内における建築物等の制限に関する条例の一部を改正する条例	可決	◎
契 約	工事請負契約の締結（旭ヶ丘住宅 A 棟耐震補強等工事）	同意	◎
人 事	固定資産評価審査委員会委員の選任（松岡伸浩氏）	同意	◎
	人権擁護委員候補者の推薦（磯野孝博氏、深尾友一氏、安東節子氏、遠藤久美子氏、浅野清美氏）	同意	◎
その他	令和元年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分	可決	◎
	市道路線の認定（市道鵜 1409 号線ほか 1 路線）	可決	◎
	市道路線の廃止及び認定（市道各 3 号線ほか 1 路線）	可決	○
	// （市道那 54 号線）	可決	◎
	// （市道那 483 号線）	可決	◎
	市道路線の廃止（市道鵜 275 号線）	可決	◎
議 員 提 案	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書	可決	◎
請 願	日本政府に核兵器禁止条約への署名と批准を求める意見書採択についての請願	不採択	△
	新型コロナから、子どもや教職員を守るために小中学校の少人数学級の実現を国や県に求める意見書採択についての請願	不採択	△

一般質問

9月定例会で一般質問をした議員（質問順）

小島博彦／黒田昌弘／津田忠孝／波多野こうめ／岩田紀正／五十川玲子／
横山富士雄／指宿真弓／水野岳男／水野盛俊／永治明子／杉山元則／古川明美

市政全般にわたる事務の執行状況や政策方針などを、各議員が市に対して質問しました。その一部を紹介します。

令和元年度決算の総括と新年度に向けて

「コロナ禍の「新しい時代」への対応

問 令和元年度決算をどのように総括しているか。

答 「しあわせを実感できるまち」の実現に向けて幅広く取り組んできた。

コミュニティ・スクール事業、かかみがはら寺子屋事業2・0では、未来を担う子どもを育むために、地域と連携した、さまざまな事業を展開した。

また、生涯現役促進協議会を立ち上げ、人材バンクの設立や企業訪問・見学会などを開催し、年齢にかかわらず活躍し続けられる社会の実現を目指してきた。

その他、災害対策の拠点にもなる新庁舎建設の着工のほか、防災備蓄倉庫の設計や、二次避難所にコンテナ式防災備蓄倉庫

を3基整備した。

今後も積極的に行政サービスを展開しつつ、将来世代に過大な負担を残さない、健全な財政運営に努めていく。



鵜沼朝日町に新たに建設される防災備蓄倉庫

問 令和元年度の決算を受けて、令和3年度予算にどのように反映していくか。

答 新型コロナウイルス感染症の影響で、令和3年度は今年度と比較して30億円程度の税収の落ち込みを見込んでいる。

非常に厳しい状況のなか、新型コロナウイルス感染症と共にある「新しい時代」へ対応するため、事業の抜本的な見直しや、コロナ禍においても推進すべき事業を厳選し、予算を編成していく。

新型コロナウイルスの影響

問 新型コロナウイルス感染者への人権侵害を防ぐための対策は。

答 人権侵害につながる不当な差別や偏見などを生み出さないよう、広報紙やウェブサイトで啓発に加え、人権問

題についての相談窓口を案内しており、今後は、SNSの活用や街頭啓発活動も行っていく。

また、学校でも偏見や差別の解消を目指す教育に取り組んでおり、子どもたちには、感染した人を責めるのではなく、思いやりの心を持ち、仲間と協力して感染症に向き合って生活することの大切さを指導していく。

住宅用火災警報器の取り換え

問 住宅用火災警報器の取り換えを啓発する考えは。

答 ウェブサイトや広報紙のほか、自主防災訓練や高齢化率の高い地域で実施する地域住宅防火訪問などで啓発している。

また、平成30年7月に東邦ガス(株)と締結した火災予防広報連携に関する協定による啓発など、さまざまな機会を通じて継続的に行っていく。

学校施設を都市計画に位置付ける意義

地域の拠点として計画的に施設を改修・更新

問

学校施設を都市計画に定める意義は。

答

学校は、子どもたちの学習の場であるとともに、地域住民の交流の拠点でもある。災害時には、学校を避難所として活用するなど防災の拠点としての機能もあり、地域コミュニティの中心的な役割も担っている。

都市計画に定めることで、教育施設としての機能に加え、地域コミュニティや防災の拠点と



地域の方と災害時を想定した訓練を実施（川島中）

問

都市計画決定の進捗状況は。

答

8月に公聴会を開催したところであり、今後は、計画案の公告・縦覧を行い、市都市計画審議会や県知事との協議を経て、決定・告示を行っていく。

農業の情報デジタル化

問

遊休農地対策として、どのようなことを行っているのか。

答

毎年、農業委員会による農地パトロールで市内全域の現状を確認している。

また、管理が不適切な農地の所有者などに対して、改善の通知や農地の利用意向調査を行っている。

問

農地の適切な利用に向けた新たな取り組みは。

答

まずは「担い手の農地利用の集積・集約化」が重要になる。

特に畑地については、耕作状況や位置関係など農地に関する情報が整理できていない。

そのため、J-Aぎふなどの関係機関と連携し、デジタルデー



農業を支える若き担い手

タの活用によりこれらの情報を整理するなどして、農地の適切な利用に向けた取り組みを進めていきたい。

新しい

特別支援学校の姿

問

新しい特別支援学校の目指す姿は。

答

小学部、中学部、高等部を併せもち、障がいの種類を知的障がいに加え肢体不自由や病弱に広げ、障がいの程度も軽度から重度までに拡充し、多様な児童生徒を受け入れる予定である。

目指すべき学校の姿は、大きく3つある。

①児童生徒や保護者の教育的ニーズを把握して12年間の学びの連続性を重視し、一人一人の障がいに応じた教育ができること。

②児童生徒が安心・安全に楽しく豊かに活動し、自立と社会参加に向けた教育ができること。

③地域の方や市民に開かれた、本市の特別支援教育の拠点としての役割を果たすことができることである。

季節性インフルエンザの予防接種

接種助成対象者を子どもや妊婦にも拡大

問 コロナ禍における季節性インフルエンザ流行への備えは。

答 この冬は、インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の同時流行が懸念され、インフルエンザ予防接種の希望者が増加し、ワクチンが不足する恐れがある。

国では、インフルエンザの流行に備えた基本的な考え方として、医療体制の整備、ワクチンの供給量の確保と優先的な接種対象者への呼びかけの実施、公衆衛生対策を挙げている。

問 国が挙げる優先的な接種対象者に対し、市はどのような取り組みのか。

答 65歳以上の高齢者などの定期接種対象者は、1500円の自己負担で接種できるが、それ以外の方は助成がない。特に13歳未満の子どもは2回接種する必要があり、費用負担が大きいことを理由に、接種を控えることも想定される。従って、少しでも接種しやすい

くするため、子どもや妊婦の接種に対して、高齢者と同程度の費用負担となるような助成を検討する。

問 高齢者と同程度の費用負担となるような助成とは、具体的にいくらか。

答 1回当たり2千円を助成できるよう、市医師会などと調整をしている。

健康や発達のための足指強化

問 幼児期から足指を鍛えるための施策を行う考えは。

答 幼児期から足指を鍛えることは体幹強化につながり、転倒などのけがの防止や運動神経向上が期待されることから、以前より着目している。

現在、保育所、認定こども園などでは、足指からの刺激で脳の発達を促す「リズム遊び」や裸足で行う「コーディネーショントレーニング」を積極的に取り入れている。

今後は、子ども館や親子サロンなどにおいて、親子で一緒に楽しめる「足指を鍛える遊び」などを紹介していく。



裸足で遊ぶことで足指を鍛える(那加中央保育所)

子ども宅食

問 子どもの見守り事業である子ども宅食について、どのように捉えているか。

答 困りごとを抱えている子育て中の家庭へ、定期的に食品などを無料もしくは低額で届ける子ども宅食は、利用者にとっては、さまざまな事情を周囲に知られることなく気軽に

利用できる事業である。

また、配達者は自宅訪問することで家庭の状況が把握でき、必要に応じて行政などの支援につなげることができると認識している。子ども宅食を貧困対策事業として導入する考えは、市内には、すでに子ども宅食に取り組んでいる団体がある。

県では、取り組み団体への支援を検討しており、今後市としても、団体などとの意見交換を行い、実施主体や対象者などの課題を整理し、事業支援や実施の可能性について検討していく。



子育て中の家庭に食品を届ける

市民の声

こんな街が いいな！



人と人との つながりがある街

斎藤博行さん（つつじが丘）

名古屋から鶴沼へ引っ越してきて6年が経ちました。これまで、地域のイベントには関わらずに暮らしていましたが、自治会長を経験して、たくさんの人と関わり、今では「地域行事も悪くない」と考え方が変わりました。

確かにイベントは手間がかかり大変ですが、同時に、代えがたい経験と地域のつながりを得ることができます。

今までの私のような考え方の人がいたらそれはもったいないと思います。

みんなで楽しく和気あいあいとイベントに参加できる、そんな街になればいいなと思います。



ふれあいが 自然にできる街

後藤秀仁さん（那加門前町）

約20年間、各務原特別支援学校に勤務し、現在は教育に関する相談や支援活動を行っています。

特別支援学校の卒業生たちは市内で生き生きと生活しており、接客の競技会で日本一になった人、提灯の絵付け師になった人、大好きな電車や駅舎の清掃をしている人など、みんな個性や才能を発揮しています。

障がいのある人もない人も、一緒に演劇を行ったり、展覧会やグルメのイベントを開催したりと、ふれあいが自然にできる優しい街になるといいなと思います。



地域で支え合い 安心できる街

杉本賢司さん（鶴沼大伊木町）

最近、他県の方から「各務原市は産業が盛んで勢いがある」と言われ、改めて、本市は災害も少なく、工業も農業も盛んで、市内の取り組みも多い街だと再認識しました。

ただ、最近は高齢化が進み、災害情報スピーカーで行方不明者を探す放送が増え、住宅地には空き家が多くなったと感じます。

私は高齢者向けの日替わり弁当を届ける仕事をしていますが、それを通して少しでも地域を支える力になればと思っています。

「みんなができること」で地域を支え合い、安心して暮らせる街になると良いと思います。

Q&A 教えて！ 質疑と質問の違い

Q. 質疑ってなに？

A. 議員が、本会議や委員会で、主に市長から提出された議案について、賛成か反対かを判断するにあたり、議案の内容で不明な点を聞くことです。本会議の質疑では、議員の意見を述べることはできません。

Q. 質問（代表質問・一般質問）ってなに？

A. 議員が、本会議で、市が行っている事務に対して、状況や方針、考え方などを聞くことです。（9ページから11ページに掲載）

12月定例会の予定

11月25日（水）	開会
12月 8日（火）～ 9日（水）	質疑、代表・一般質問
12月14日（月）～ 15日（火）	常任委員会
12月18日（金）	閉会

新型コロナウイルス感染症拡大の状況によっては、会議の傍聴を制限する場合がございます。傍聴を希望される方は、事前に議会事務局にお問い合わせいただくか、市議会ウェブサイトをご確認ください。

市議会だより編集委員会

委員長 | 水野岳男 | 副委員長 | 指宿真弓
委員 | 古川明美 塚原甫 小島博彦 大竹大輔

市議会の詳しい情報は各務原市公式ウェブサイトからご覧ください。

各務原市議会

検索



かかみがはら
市議会だより

| 発行 | 各務原市議会 岐阜県各務原市那加桜町 1-69
| 電話 | 058-383-2001 | 編集 | 市議会だより編集委員会

環境保護のため、
植物インキを
使用しています。

